

ひがしなかがわ にようろうこうじ

以直報怨

嶋 凱 風

日本の文化、文明の始まりは中国大陸よりもたらされた。古墳時代に漢字、儒教、仏教が伝来し、以後は日本独自の文化が発展した。飛鳥、奈良時代には冠位十二階制度、憲法十七か条が制定され、古事記、日本書紀ができ、平安時代には万葉集が編纂され、古典文化が花咲くようになった。中国からは論語を始めとする*四書、*五経が輸入され、日本の文化文明はさらに発展した。ということである。中国は日本の師匠に当たるのである。ところが最近の中国の態度はどうなっているのか。他人の国土を自分のものだと言い張り、国境を侵した船長をすぐ釈放せよという。これはヤクザの当たりやではないか。これに対応する日本の態度はどうしたのか。マスコミは中国の反日運動ばかり報道していたが、十数億の国民すべてが反日だった



のではない。日本の首相、外務大臣は特に抗議もしなかったのもおかしい。日本の国土はだれが守るのか。話し合いで解決できる相手なのか。マスコミがあまりにも大げさに報道するのも異常だ。論語は性善説にしたがって人の守るべき徳が語られている。ただし人の世はこんな単純なものではない。韓非子のいう性悪説も事実である。では日本人はどうすべきなのか。国民一人ひとりが日本の成り立ちを考えるべきではないか。歴史を学ぶことも必要である。論語では、「直を以って怨みに報い、徳を以って徳に報いん。」ということばがある。直とは真っ直ぐに

平成 22 年
第 52 号
10月 25日 発行

発行者



医療法人社団
小島医院
高岡市東中川町6-10
TEL 26-1020
FAX 26-0573

<http://www.kojimaini.com>

筋を通すという事である。政治家がこれを知っていたのか疑問である。

- * 四書 .. 「大学」「中庸」「論語」「孟子」
- * 五経 .. 「易経」「書経」「詩経」「礼記」「春秋」

買物応援団に参加して

永 森 祺 郎

登山仲間の西野強さんに誘われて買物応援団の活動に参加してから今年の九月で丸一年になる。正式名称をNPO法人・買物くらし応援団といい代表の能崎博さんと西野さん私は同年齢だ。ある情報誌のインタビュー記事によると、能崎さんの家の近くにあったスーパーが平成十七年に閉店し、仲良くなっていた近所の奥さんやお年寄り達から買物物が困難になった

との話を聞かされ、長年食品スーパー業界に身を置いてきた能崎さんとしては少しでも社会に恩返しできればという思いにかられ、アルビス時代の同僚と五人で平成十八年四月に事業を開始したそうである。

活動の拠点はヒラキストア大坪店にあり、お客さんを会員と呼び会費は年間千円、一回の配達につき百円の手数料を受取るシステムになっている。私は西野さんと配達を担当するが、商品を配達用ケースに詰める作業もする。一年間活動してみても、注文を受けて商品を買って揃える人、注文書とレシートを照合して買い洩れなどがなければ確認する人、どれもスピードが要求される大変な仕事である。というのが私の実感である。



「能崎さんは記事の中で設立の目的を①買い物難民と呼ばれる人達を応援し、その人達に生き活きと生活してもらおう。②定年退職をした方などに二時間でも三時間でも働いてもらい生きがいを持ってもらおう。③こういった組織を全国に広めること。」と語っておられる。

NHKの番組や「みのもんたの朝ズバ」に取り上げられたこともあって現在、全国各地から問い合わせが相次ぎ来訪される方々もいて能崎さんはその対応に大忙しの毎日が続いている。全国に広めたいという願いは徐々に実を結びつつあるようだ。

ところで先日見たテレビでは限界集落と呼ばれる富山県東部の過疎地域に町から移動スーパリーの車が商品を配達し住民の喜ぶ姿を映し出していた。

買い物難民とか限界集落あるいは小子高齢化などという現象は小泉内閣時代、市場原理至上主義を唱えた経済学者大臣の政策によって特に顕著になってきたようである。どの現象も日本の未来に向かつて多くの難問を孕んでいる。十年先二十年先を展望できる為政者が登場してこない限り日本列島はや

がて限界列島と呼ばれることになってしまっているのではないかと私は思うのである。

「糖尿病の発病」

柴田 正雄

クレアチニンの数値が8となつて、腎臓の機能が難しくなり、いよいよ透析を行うようになつた今年の初め頃、三大合併も全て病に犯されて、目の網膜症と手足のしびれの神経障害も発病してから直ぐにやってきました。

目の手術も両目行つて、レーザーで焼くこと三百〜四百止血をしてから手術に入った。足のしびれ等も、雷が手足の先端に落雷したようにピリピリと痛さを覚えるしびれが一日中容赦なく襲つて来て、仕事も何もかも手のつけられない状態で大変に困つた毎日だ!!。糖尿病の恐さをしっかりと、心の底まで嫌と云う程思い知らされ、意気消沈する結果に。

今から二十余年前、会社勤めしていた頃、健康診断による尿検査の結果、精密検査を要するとゴム印が私の検査報告にははっきりと

打っており、もうその時、糖尿病が発病していたものか?。自覚症状がないものですから、二回ぐらい放置していたのが最大の欠点だと、今から思うと大いに反省すべき点だったと深く思うものであります。

内科に行つて診断してもらつと、血糖値がもはや四百〜五百の値を示しており、完全に予備軍ではなく、「糖尿病」のレッテルをはつきりと押され、要約のこと細長い薬を食後に飲むことになり、生涯の糖尿との戦い、付き合いが始まった瞬間であり、情けなかつた一瞬でもあった。

ある日尿意を催しトイレに行くのと、尿の量が思いがけなく多量であつて、通常の倍近く出ていたことを今思い起こせばあつたことに気づき、尿自体も泡が出ており、シャボン玉のように便器いっぱい、泡だらけの用足しとなつていたようだ。

全く症状がなかったから、ましてや、痛くも痒くもない通常と変わらない状態であつたから、完全に糖尿を甘く見たことは確かであり、後々こんな大変なことになるとは全く予期せぬことであり、合

併症の恐さをつくづく思い知らされる結果となつて、入院の繰り返しで今日までやって来たものです。合併症以外にも、動脈硬化等の血液の病から突然の心筋梗塞にも倒れて、緊急入院してカテーテルの手術も検査も含めて、計五回行つてこの世に戻れる結果となつた訳です。

体はガタガタに破壊され、病気のデパートのような体になつてしまい、徐々に虫ばまれて行く体内が手に取るように解り、今更透析する四〜五時間の間に、静かに反省するのですが、少しの気安目しかならず心の中で泣いている毎日となつてしまいました。でも、この年迄生きておられることに感謝して、合掌するものである。

私を助けてくれた主治医、また回りの先生なんかも深く深く感謝するものです。それに看護師さんにも、毎日の透析他で大変お世話になつており、今命があるのも小島先生とその看護師さんのお蔭と思つており、この先も息が途絶えるまで身の回りの人達にお世話になることになりました。

「感謝」の二文字、本当に有難く思つて生活を致します。



介護川柳

・介護士に自立自立とおだてられ

一人着衣してみれば

下着が二枚裏返し

・これもまた脳トレだそうなの

ジャンケンポン

・体温計はずして見たら

ボールペン

・老いの背をいたわり流す

天女の手



・髪を洗い背を流してくれる

スタッフの額から

したたり落ちる玉の汗

・車椅子降りて駆け足

夢の夢

・ありがとう言ったあなたに

ありがとう

毎月、月刊誌に載っている介護川柳です。

言い得て妙な物、笑える物が多く、いつも一人ほえんでいます。病棟勤務においても“あるある”と思っただ物をビックアップしました。(S・N)

りくがだより

今年の夏は猛暑続きのうんざりする毎日でした。熱中症で体調を崩される方が多い中、りくがをご利用の皆様は、毎日食前の『口腔体操』や『歌体操』を行い、暑い夏を無事に乗り切ることができました。『歌体操』とはどんな体操なのかをご紹介します。りくがでは昨年より、童謡や昭和歌謡曲に合わせ、スタッフがそれぞれの個性で作った体操を始めました。号令に合わせて行う体操に比べ、楽しんで参加していただくようになり、馴染みの曲の為

一緒に歌い、発声練習にもなります。リズムに合わせ、コミカルな動きや決めポーズなど、ユーモア溢れる動きも多く取り入れ、体操というよりはダンス感覚で踊る、と言った方がいいかもしれません。皆様の表情は様々で、失笑される方、真剣な顔、照れくさそうな顔、ニコニコ顔などになります。それに比べ、スタッフは汗だくになり、息切れする始末です。



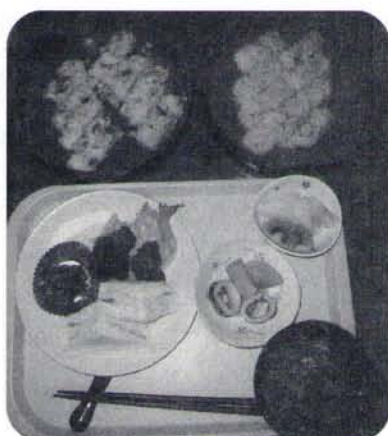
楽しみながら体を動かす事により、体操後は皆様声をそろえ『スッキリした』『体が軽くなった』と言われます。これからも、皆様元気毎日を過ごしていただければ、楽しめる体操を続けていきたいと思えます。(M・S)

お楽しみ献立

九月八日(水)「りくが」にて、お楽しみ献立を実施しました。

メニューは、お食事が届くまでのお楽しみということで、利用者さんは、どの様な食事が来るのか想像を膨らませながら、首を長くして待っておられた事と思います。メニューは押し寿司(焼き鯖・焼きサーモン)・サンドウィッチ・鶏の唐揚げ・大根とイカの煮物・ほうれん草の白和え・すまし汁でした。

普段とは違う器に盛り付けられ、とても豪華に見えました。食の細かい方も、この日は、いつもよりたくさん食べておられました。(M・Y)



受付だより

接骨院・整骨院で健康保険が使える範囲について

健康保険が適用される施術の範囲は限定されています。

健康保険の使える範囲について正しく理解し、接骨院・整骨院（どちらも柔道整復師が施術します）にかかりましょう。

健康保険が使える



- ◆ 応急処置で行う骨折・脱臼の施術
- ◆ 医師の同意がある骨折・脱臼の施術
- ◆ 外傷性の打撲、捻挫など

健康保険が使えない



神経痛や
リウマチ
も×

- ◆ 日常生活からくる疲労、肩こり、腰痛、体調不良
- ◆ 医師の同意がない骨折・脱臼の施術（応急処置を除く）
- ◆ 交通事故等の後遺症
- ◆ 病気からくる痛みやこり
- ◆ スポーツによる筋肉疲労や筋肉痛
- ◆ 症状の改善の見られない長期の治療

- 痛みの原因・負傷の原因を柔道整復師にはっきりと伝えましょう。
- 療養費支給申請書には必ず受診者自身が内容を確認のうえ署名・捺印をしましょう。
- 領収書は医療費控除を受ける際にも必要になりますので、必ずもらいましょう。

注意！

同一の負傷について同時期に整形外科の治療と柔道整復師の施術を重複・並行して受けた場合には、原則として柔道整復師の施術は保険の対象になりません。(M・M)

新人紹介



准看護師
北野 知子

初めまして。五月十七日から、外来で働いている准看護師の北野です。看護師三年目の新人ですが、年齢は決して若くないのであしからず(笑)。

小島医院に来る前は、皮膚科・泌尿器科に二年居ました。実は看護師になる前は、まったく違う職種で働いていました。高校卒業後↓某スーパー四年(倒産しました)↓某スーパー四年半↓ヘルパー二級取得↓某特養で介護職四年↓准看護師。准看護師は、介護職勤務しながら二年間学校に通わせてもらい取得しました。まだまだ、経験不足で、至らない点も多い私ですが、どうぞよろしく願います。

栄養室だより

S 朝食を

食べましょう S

皆さんは、毎日しっかり朝食を

食べていますか？

朝食は、おなかの空いたのを満足させるだけでなく、夜眠っていった体と頭を目覚めさせ、一日の生活のリズムを規則正しくする役割があります。脳はものを考えたり、記憶したりするだけでなく、体の各臓器に指令を出して体を動かすなど、生命を維持するためにも、とても大切な器官です。人間の脳は、順調に働くためのエネルギー(ブドウ糖)が必要です。ブドウ糖は、体内には大量に貯蔵しておくことができないので、すぐに不足してしまいます。ですから、朝食でしっかりと炭水化物(ブドウ糖)を補給しないと、脳は正常に働かず、集中力や記憶力も低下してしまいます。午前中を有意義に過ごすためにも、毎日しっかり朝ごはんを食べましょう！

(M・Y)

編集後記

今年の冬は豪雪と予報され、今から雪すかしの心配をしています。冬の寒さに負けないよう、体力づくり、体調管理をして万全の態勢で冬を迎えましょう！！

(M・Y記)